

レンチウイルス製品の不活性化・廃棄方法

弊社製品における推奨方法

レンチウイルス製品の不活性化や、不活化処理に必要な使用済み実験器具については、一般的に下記のいずれかの方法が推奨されます。

1. オートクレーブ処理（121℃、20 分間）
2. 0.1～1.0%の次亜塩素酸ナトリウム溶液（終濃度 0.5%の場合、2 時間以上の浸水）
3. 10% ブリーチ液（塩素系漂白剤など）に 24 時間以上の浸水

他に、乾熱滅菌（170℃、2 時間）、煮沸消毒（20～30 分間）、70%エタノール処理等が有効とされています。

詳細はご所属先の遺伝子組換え実験安全委員会や、実験施設管理責任者の方にご確認ください。

不活性化した後の製品についてはカルタヘナ法の対象外です。

廃棄物処理の法令・規則や、ご所属先の廃棄物管理規定に従い処分をお願いいたします。

シグマ アルドリッチ ジャパン リサーチ事業部 〒153-8927 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー 5F

シグマ アルドリッチ ジャパン合同会社はメルクのグループ会社です。

E-mail: jpts@merckgroup.com Tel: 03-6756-8245

本紙記載の製品は試験・研究用です。ヒト、動物への治療、もしくは診断目的として使用しないようご注意ください。なお、品目、製品情報、価格等は予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。記載内容は2023年2月時点の情報です。©2023 Merck KGaA, Darmstadt, Germany. All rights reserved. Merck, the vibrant M, and Sigma-Aldrich are trademarks of Merck KGaA, Darmstadt, Germany or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners. Detailed information on trademarks is available via publicly accessible resources.

Lit. No. TSM061-2302-K